

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月18日			
平成15年度	事業コード	13120	電話	042-769-9227
担当部課名	保健福祉部	子育て支援	課	児童育成班
事務事業名	児童虐待防止事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	13年度
施策名	第2施策	子育て支援の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

児童福祉法、児童虐待防止法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
近年、都市化の進展や核家族化の進行等により、子どもや子育てをめぐる問題が多様化し、特に、児童への虐待が深刻な社会問題となっている。 このような中で、本市では、平成13年5月に、県相模原児童相談所、保健所等、関係機関による「児童虐待防止ネットワーク」を構築し、児童虐待に迅速かつ適切に対応するとともに、児童虐待を未然に防止するための事業を実施している。	虐待している又は虐待するおそれのある保護者とその児童。 対象数 173件
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1. 児童虐待防止ネットワークの運営 (児童虐待防止協議会(1回)、児童虐待防止連絡会議(2回)、ケース会議(55回)の開催) 2. 子育て支援講座の開催(公民館等を利用して、年11回開催) 3. 職員研修の実施(年5回開催)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	新さがみはら子どもプラン
計画年次	13年度～17年度
子育て支援の総合的展開 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます 1. 子どもの権利を大切にする環境づくり	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
			児童虐待の予防及び防止事業を行えば、一般的には児童虐待の件数は減少するが、数値化することは困難である。					
活動指標	ケース会議開催回数増減率(%)	本年度ケース回数数÷前年度ケース回数数×100	児童虐待の防止対策として実施しているケース会議の開催回数で、虐待対策の充実度をみる。		28	60	60	60

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費		1,221	286	563	563
人員・時間数		4/人・年	4/人・年	4/人・年	4/人・年
人件費		3,356	3,356	3,356	3,356
その他経費					
合計	0	4,577	3,642	3,919	3,919
特定財源		1,140	200	0	
対象数		211	173	150	150
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	21.7	21.1	26.1	26.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	児童虐待防止ネットワークの運営にあたり、個々の事例に対応するケース会議は充実しているが、関係機関が集まり情報交換等を行う児童虐待防止協議会や児童虐待防止連絡会議については、開催回数を増やし充実させることが今後の課題である。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	「児童虐待防止ネットワーク」の構築により、関係機関が連携して、児童虐待の早期発見、早期対応を行っている。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	本事業の場合、児童虐待防止事業が充実すれば、対象者数は減少するため、一概に費用対効果で論ずることはできないが、予算や人員に見合った効果は得られていると考える。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	子育てをしている親は誰でも、対象になる可能性があり、そういう点からも公平である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明： 育児不安や育児ストレスから、児童虐待に移行することが危惧される親を対象にした「育児支援教室」を、新たに設ける。	手段	
<input type="checkbox"/> ない		削減額	積算不可 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		児童虐待防止ネットワークをつくり、児童虐待に対応している市町村は、全体の32%とまだ少なく、そういう点では、本市の取り組みは先駆的なものであるといえる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	「児童虐待防止ネットワーク」を中心とした児童虐待防止事業は、現在、円滑に行われている。今後は、「育児支援教室」の開催等、保健所事業と連携して、事業のより一層の充実を図っていくとともに、児童虐待防止対策事業の運営を将来にわたって、継続かつ効果的に行っていくために、今後、新たな組織の設置について、検討していく。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--